

地域農業の在り方等を踏まえた市町村支援計画等の概要

【地区の概要】

- 標高約600メートルの準高冷地で有機野菜を生産
- 新規就農による後継者はいるものの、依然として不作付地の解消や高齢者からの経営継承が課題

【支援内容・背景】

- 不作付地の解消や高齢者からの経営継承について、新たな担い手を確保・育成し、早期経営安定に向けた支援が必要。
- 助成対象者は、地区内でハウレンソウ等の有機栽培を志向して親元就農した新規就農者であり、安定生産に向けた土づくりや農作業の効率化等に取り組みながら、経営規模の拡大を目指している。このため、地区における有機農業経営モデルとして育成・支援。



助成対象者の経営の状況と事業内容

【経営の経緯】

- 平成29年 新規就農（親元）
- 平成30年 青年等就農計画の認定
- 令和4年 農業経営改善計画の認定

《事業活用の背景》

○ 経営規模を拡大するためには、農作業の効率化を図り、栽培回転率の向上が必要。経営規模の拡大に向け、耕耘作業の効率化及び堆肥のかくはん・散布作業時間の短縮に資する高性能機械を導入。

【事業実施時の状況】
〈平成30年度〉

- 付加価値額 3,218千円
- 経営面積 0.89 ha

《事業による整備内容》

- トラクター24ps 1台
- フロントローダー 1式

事業費 3,015千円
(国費 888千円)

【現在の経営状況】
〈令和3年度〉

- 付加価値額 5,065千円 (157%)
- 経営面積 1.08ha (121%)

事業の
効果

《対象者》 高性能機械導入による農作業の効率化、栽培回転率の向上により、経営規模の拡大が実現。
《地区》 担い手の経営規模の拡大が図られることにより、不作付地の減少や経営継承を実現した地域を支える有機農業経営モデルが確立。